

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【公表番号】特表2019-505545(P2019-505545A)

【公表日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-008

【出願番号】特願2018-543286(P2018-543286)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 C 0 7 K 16/28 (2006.01)
 C 0 7 K 16/46 (2006.01)
 C 0 7 K 19/00 (2006.01)
 C 1 2 N 1/15 (2006.01)
 C 1 2 N 1/19 (2006.01)
 C 1 2 N 1/21 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/04 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 47/69 (2017.01)
 A 6 1 K 47/64 (2017.01)
 A 6 1 K 47/68 (2017.01)
 A 6 1 K 49/16 (2006.01)
 A 6 1 K 49/00 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 C 1 2 N 15/13 (2006.01)
 C 1 2 N 15/62 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 Z N A E
 C 0 7 K 16/28
 C 0 7 K 16/46
 C 0 7 K 19/00
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 5/10
 A 6 1 K 39/395 T
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 35/04
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 47/69
 A 6 1 K 39/395 C
 A 6 1 K 39/395 L
 A 6 1 K 47/64
 A 6 1 K 47/68
 A 6 1 K 49/16
 A 6 1 K 49/00
 G 0 1 N 33/53 D
 C 1 2 N 15/13

C 1 2 N 15/62

Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月30日(2019.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グリピカン2に選択的に結合する抗体または抗体派生物を含む、対象において癌を処置するための薬学的組成物であって、前記癌が、前記対象におけるグリピカン2陽性癌細胞に前記抗体または抗体派生物が接触することによって処置される、前記薬学的組成物。

【請求項2】

グリピカン2陽性癌細胞が固形腫瘍癌細胞である、

グリピカン2陽性癌細胞が、肺癌細胞、脳癌細胞、頭頸部癌細胞、乳癌細胞、皮膚癌細胞、肝臓癌細胞、膵臓癌細胞、胃癌細胞、結腸癌細胞、腎臓癌細胞、直腸癌細胞、子宮癌細胞、子宮頸癌細胞、卵巣癌細胞、精巣癌細胞、皮膚癌細胞、もしくは食道癌細胞である固形腫瘍癌細胞である、または

グリピカン2陽性癌細胞が胚性癌細胞である、または

グリピカン2陽性癌細胞が、肉腫細胞、神経芽細胞腫細胞、ラブドイド癌細胞、髄芽細胞腫細胞もしくは神経芽細胞腫細胞である、

請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項3】

第2の抗癌剤または処置と組み合わせて使用される、請求項1または2記載の薬学的組成物。

【請求項4】

第2の抗癌剤もしくは処置が、化学療法、放射線療法、免疫療法、ホルモン療法、もしくは毒素療法より選択される、かつ/または

薬学的組成物が第2の剤もしくは処置の前に与えられる、もしくは第2の剤もしくは処置が、薬学的組成物と同時、もしくは薬学的組成物の前および/もしくは後に与えられる、請求項3記載の薬学的組成物。

【請求項5】

グリピカン2陽性癌細胞が、転移癌細胞、多剤耐性癌細胞、もしくは再発性癌細胞である、かつ/または

抗体が、単鎖抗体、シングルドメイン抗体もしくはキメラ抗体である、もしくは抗体派生物がFab断片である、かつ/または

抗体が、グリピカン2および異なる癌細胞表面抗原に対して特異性を有する組換え抗体である、

請求項1~4のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項6】

抗体が、マウス抗体もしくはIgGであるマウス抗体である、または

抗体が、ヒト抗体、ヒト化抗体、もしくはIgGであるヒト化抗体である、

請求項1~5のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項7】

薬学的組成物が、抗体に連結された抗腫瘍薬物をさらに含む、または

薬学的組成物が、抗体に連結された抗腫瘍薬物をさらに含み、前記抗腫瘍薬物が感光性リンカーもしくは酵素によって切断されるリンカーを介して前記抗体に連結されている、または

薬学的組成物が、抗体に連結された抗腫瘍薬物をさらに含み、前記抗腫瘍薬物が毒素、放射性同位体、サイトカイン、もしくは酵素である、
請求項1~6のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項8】

抗体が標識、もしくはペプチドタグ、酵素、磁気粒子、発色団、蛍光分子、化学発光分子、もしくは色素である標識をさらに含む、かつ/または
抗体がリボソームもしくはナノ粒子に結合されている、かつ/または
抗体が細胞死を誘導する、もしくは抗体依存性細胞毒性もしくは補体を介した細胞毒性によって細胞死を誘導する、
請求項1~7のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【請求項9】

抗体派生物がキメラ抗原受容体もしくは二重特異性抗体である、または
抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられる、
請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項10】

- (i) グリピカン2に選択的に結合する第1の単鎖抗体であって、
- (a) IgG抗体であり、
 - (b) 癌細胞増殖を阻害し、
 - (c) 癌細胞死を誘導する

第1の単鎖抗体と、

- (ii) T細胞またはB細胞に結合する第2の単鎖抗体と

を含む、融合タンパク質。

【請求項11】

第1の抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられる、または
第2の単鎖抗体が、T細胞に結合する、または
第2の単鎖抗体が、CD3を介して、T細胞に結合する、または
第2の単鎖抗体が、B細胞に結合する、または
融合タンパク質が、標識もしくは治療部分をさらに含む、
請求項10記載の融合タンパク質。

【請求項12】

(i) グリピカン2に選択的に結合する単鎖抗体可変領域を含むエクトドメインであって、
該抗体が、

- (a) IgG抗体であり、
- (b) 癌細胞増殖を阻害し、
- (c) 癌細胞死を誘導し、

該単鎖抗体可変領域のC末端に取り付けられた可動性ヒンジを有する、
エクトドメインと、

(ii) 膜貫通ドメインと、

(iii) エンドドメインと

を含む、キメラ抗原受容体であって、該単鎖抗体可変領域がグリピカン2と結合した場合に該エンドドメインがシグナル伝達機能を含む、キメラ抗原受容体。

【請求項13】

第1の単鎖抗体が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられる、または
膜貫通ドメインおよびエンドドメインが同じ分子に由来する、または
エンドドメインがCD3 ドメインもしくは高親和性Fc RIを含む、または
可動性ヒンジがCD8 もしくはIgに由来する、
請求項12記載の受容体。

【請求項14】

請求項12もしくは13記載のキメラ抗原受容体、または請求項10記載の融合タンパク質を発現する、細胞。

【請求項15】

エンドドメインがCD3 ドメインもしくは高親和性Fc RIを含む、または可動性ヒンジがCD8 もしくはIgに由来する、または第2の単鎖抗体が、CD3、T細胞、もしくはB細胞に結合する、請求項14記載の細胞。

【請求項16】

抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられる、または

抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23である重鎖可変配列および軽鎖可変配列によってコードされる、または

抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して少なくとも70%、80%、もしくは90%の同一性を有する重鎖可変配列および軽鎖可変配列によってコードされる、または

抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して少なくとも95%の同一性を有する重鎖可変配列および軽鎖可変配列によってコードされる、または

抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24を含む重鎖可変配列および軽鎖可変配列を含む、または

抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24に対して95%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列を含む、モノクローナル抗体。

【請求項17】

抗体断片が、組換えScFv(単鎖断片可変)抗体、Fab断片、F(ab')₂断片、もしくはFv断片である、もしくは抗体がキメラ抗体もしくは二重特異性抗体である、かつ/または

抗体が、IgGである、および/もしくは標識に結合されている、および/もしくは治療剤に結合されている、かつ/または

抗体もしくは抗体断片が標識をさらに含む、

請求項16記載のモノクローナル抗体。

【請求項18】

抗体もしくは抗体断片をコードする、ハイブリドーマもしくは操作された細胞であって、

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられる、または

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23である軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、または

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して少なくとも70%、80%、もしくは90%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、または

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23

に対して95%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、または

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24を含む軽鎖可変配列および重鎖可変配列を含む、または

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24に対して少なくとも70%、80%、もしくは90%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、または

前記抗体もしくは抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、もしくは25~30によって特徴付けられ、かつそれぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24に対して95%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列を含む、
ハイブリドーマもしくは操作された細胞。

【請求項19】

抗体断片が、組換えScFv(単鎖断片可変)抗体、Fab断片、F(ab')₂断片、もしくはFv断片である、かつ/または

抗体がキメラ抗体、二重特異性抗体、もしくはIgGである、
請求項18記載のハイブリドーマまたは操作された細胞。

【請求項20】

請求項16または17記載のモノクローナル抗体を含む、薬学的組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

[本発明1001]

対象におけるグリピカン2陽性癌細胞を、グリピカン2に選択的に結合する抗体または抗体派生物と接触させる工程を含む、癌を処置する方法。

[本発明1002]

グリピカン2陽性癌細胞が固形腫瘍癌細胞である、本発明1001の方法。

[本発明1003]

固形腫瘍細胞が、肺癌細胞、脳癌細胞、頭頸部癌細胞、乳癌細胞、皮膚癌細胞、肝臓癌細胞、膵臓癌細胞、胃癌細胞、結腸癌細胞、腎臓癌細胞、直腸癌細胞、子宮癌細胞、子宮頸癌細胞、卵巣癌細胞、精巣癌細胞、皮膚癌細胞、または食道癌細胞である、本発明1002の方法。

[本発明1004]

グリピカン2陽性癌細胞が胚性癌細胞である、本発明1001の方法。

[本発明1005]

癌細胞が、肉腫細胞、神経芽細胞腫細胞、ラブドイド癌細胞、髓芽細胞腫細胞または神経芽細胞腫細胞である、本発明1001の方法。

[本発明1006]

グリピカン2陽性癌細胞を第2の抗癌剤または処置と接触させる工程をさらに含む、本発明1001~1005のいずれかの方法。

[本発明1007]

第2の抗癌剤または処置が、化学療法、放射線療法、免疫療法、ホルモン療法、または毒素療法より選択される、本発明1006の方法。

[本発明1008]

グリピカン2抗体が第2の薬剤または処置の前に与えられる、本発明1006の方法。

[本発明1009]

第2の抗癌剤または処置が第1の薬剤と同時に与えられる、本発明1006の方法。

[本発明1010]

第1の薬剤の前および/または後に第2の抗癌剤または処置が与えられる、本発明1006の方法。

[本発明1011]

グリピカン2陽性癌細胞が、転移癌細胞、多剤耐性癌細胞、または再発性癌細胞である、本発明1001～1010のいずれかの方法。

[本発明1012]

抗体が単鎖抗体である、本発明1001～1011のいずれかの方法。

[本発明1013]

抗体がシングルドメイン抗体である、本発明1001～1011のいずれかの方法。

[本発明1014]

抗体がキメラ抗体である、本発明1001～1011のいずれかの方法。

[本発明1015]

抗体派生物がFab断片である、本発明1001～1011のいずれかの方法。

[本発明1016]

抗体が、グリピカン2および異なる癌細胞表面抗原に対して特異性を有する組換え抗体である、本発明1011～1015のいずれかの方法。

[本発明1017]

抗体が、IgGなどのマウス抗体である、本発明1001～1016のいずれかの方法。

[本発明1018]

抗体がヒト抗体である、本発明1001～1016のいずれかの方法。

[本発明1019]

抗体がヒト化抗体である、本発明1001～1015のいずれかの方法。

[本発明1020]

ヒト化抗体がIgGである、本発明1018～1019のいずれかの方法。

[本発明1021]

抗体が、抗体に連結された抗腫瘍薬物をさらに含む、本発明1001～1020のいずれかの方法。

[本発明1022]

抗腫瘍薬物が感光性リンカーを介して抗体に連結されている、本発明1021の方法。

[本発明1023]

抗腫瘍薬物が、酵素によって切断されるリンカーを介して抗体に連結されている、本発明1021の方法。

[本発明1024]

抗腫瘍薬物が、毒素、放射性同位体、サイトカイン、または酵素である、本発明1021の方法。

[本発明1025]

抗体が標識をさらに含む、本発明1001～1024のいずれかの方法。

[本発明1026]

標識が、ペプチドタグ、酵素、磁気粒子、発色団、蛍光分子、化学発光分子、または色素である、本発明1025の方法。

[本発明1027]

抗体がリポソームまたはナノ粒子に結合されている、本発明1001～1026のいずれかの方法。

[本発明1028]

抗体が、例えば抗体依存性細胞毒性または補体を介した細胞毒性によって、細胞死を誘導する、本発明1001～1027のいずれかの方法。

[本発明1029]

抗体派生物がキメラ抗原受容体または二重特異性抗体である、本発明1001の方法。

[本発明1030]

抗体または抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、または25~30によって特徴付けられる、本発明1001の方法。

[本発明1031]

(i)グリピカン2に選択的に結合する第1の単鎖抗体であって、

(a)IgG抗体であり、

(b)癌細胞増殖を阻害し、

(c)癌細胞死を誘導する

第1の単鎖抗体と、

(ii)T細胞またはB細胞に結合する第2の単鎖抗体とを含む、融合タンパク質。

[本発明1032]

第1の抗体または抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、または25~30によって特徴付けられる、本発明1031の融合タンパク質。

[本発明1033]

第2の単鎖抗体が、例えばCD3を介して、T細胞に結合する、本発明1031の融合タンパク質。

[本発明1034]

第2の単鎖抗体がB細胞に結合する、本発明1031の融合タンパク質。

[本発明1035]

標識または治療部分をさらに含む、本発明1031の融合タンパク質。

[本発明1036]

(i)グリピカン2に選択的に結合する単鎖抗体可変領域を含むエクストドメインであって、該抗体が、

(a)IgG抗体であり、

(b)癌細胞増殖を阻害し、

(c)癌細胞死を誘導し、

該単鎖抗体可変領域のC末端に取り付けられた可動性ヒンジを有する、エクストドメインと、

(ii)膜貫通ドメインと、

(iii)エンドドメインと

を含む、キメラ抗原受容体であって、該単鎖抗体可変領域がグリピカン2と結合した場合に該エンドドメインがシグナル伝達機能を含む、キメラ抗原受容体。

[本発明1037]

第1の単鎖抗体が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、または25~30によって特徴付けられる、本発明1036の受容体。

[本発明1038]

膜貫通ドメインおよびエンドドメインが同じ分子に由来する、本発明1036の受容体。

[本発明1039]

エンドドメインがCD3 ドメインまたは高親和性Fc RIを含む、本発明1036の受容体。

[本発明1040]

可動性ヒンジがCD8 またはIgに由来する、本発明1036の受容体。

[本発明1041]

本発明1036~1040のいずれかのキメラ抗原受容体を発現する、細胞。

[本発明1042]

エンドドメインがCD3 ドメインまたは高親和性Fc RIを含む、本発明1041の細胞。

[本発明1043]

可動性ヒンジがCD8 またはIgに由来する、本発明1041の細胞。

[本発明1044]

本発明1031の融合タンパク質を発現する、細胞。

[本発明1045]

第2の単鎖抗体が、CD3、T細胞、またはB細胞に結合する、本発明1044の細胞。

[本発明1046]

抗体または抗体断片が、CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、または25~30によって特徴付けられる、モノクローナル抗体。

[本発明1047]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23である重鎖可変配列および軽鎖可変配列によってコードされる、本発明1046のモノクローナル抗体。

[本発明1048]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して少なくとも70%、80%、または90%の同一性を有する重鎖可変配列および軽鎖可変配列によってコードされる、本発明1046のモノクローナル抗体。

[本発明1049]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して少なくとも95%の同一性を有する重鎖可変配列および軽鎖可変配列によってコードされる、本発明1046のモノクローナル抗体。

[本発明1050]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24を含む重鎖可変配列および軽鎖可変配列を含む、本発明1046のモノクローナル抗体。

[本発明1051]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24に対して95%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列を含む、本発明1046のモノクローナル抗体。

[本発明1052]

抗体断片が、組換えScFv(単鎖断片可変)抗体、Fab断片、F(ab')₂断片、またはFv断片である、本発明1046~1051のいずれかのモノクローナル抗体。

[本発明1053]

キメラ抗体または二重特異性抗体である、本発明1046~1051のいずれかのモノクローナル抗体。

[本発明1054]

IgGである、および/または標識に結合されている、および/または治療剤に結合されている、本発明1046~1053のいずれかのモノクローナル抗体。

[本発明1055]

抗体または抗体断片が標識をさらに含む、本発明1046~1054のいずれかのモノクローナル抗体。

[本発明1056]

CDR配列SEQ ID NO:5~10、15~20、または25~30によって特徴付けられる抗体または抗体断片をコードする、ハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1057]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23である軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、本発明1056のハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1058]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して少なくとも70%、80%、または90%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、本発明1056のハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1059]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:1および3、11および13、ならびに21および23に対して95%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる

、本発明1056のハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1060]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24を含む軽鎖可変配列および重鎖可変配列を含む、本発明1056のハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1061]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24に対して少なくとも70%、80%、または90%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列によってコードされる、本発明1056のハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1062]

抗体または抗体断片が、それぞれSEQ ID NO:2および4、12および14、ならびに22および24に対して95%の同一性を有する軽鎖可変配列および重鎖可変配列を含む、本発明1056のハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1063]

抗体断片が、組換えScFv(単鎖断片可変)抗体、Fab断片、F(ab')₂断片、またはFv断片である、本発明1056~1062のいずれかのハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1064]

抗体がキメラ抗体または二重特異性抗体である、本発明1056~1063のいずれかのハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1065]

抗体がIgGである、本発明1056~1063のいずれかのハイブリドーマまたは操作された細胞。

[本発明1066]

本発明1046~1055のいずれかのモノクローナル抗体を含む、薬学的組成物。

本開示の他の目的、特徴、および利点は以下の詳細な説明から明らかになるだろう。しかしながら、詳細な説明および特定の実施例は本開示の特定の態様を示しているが、この詳細な説明から、本開示の精神および範囲の中での様々な修正および変更が当業者に明らかになるので、例示にすぎないことが理解されるはずである。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2019505545A5	公开(公告)日	2019-12-12
申请号	JP2018543286	申请日	2016-11-08
[标]申请(专利权)人(译)	费城儿童医院 美国卫生及公共服务部		
申请(专利权)人(译)	费城儿童医院 美利坚合众国政府作为丽局局长介绍泰德，健康和人类Sabishizu系		
当前申请(专利权)人(译)	费城儿童医院 美利坚合众国政府作为丽局局长介绍泰德，健康和人类Sabishizu系		
[标]发明人	デイミトロフディミーター		
发明人	マーリス ジョン エム. ボッセ クリストファー アール. デイミトロフ ディミーター チュ チョンユ		
IPC分类号	A61K39/395 C07K16/28 C07K16/46 C07K19/00 C12N1/15 C12N1/19 C12N1/21 C12N5/10 A61P35/00 A61P35/04 A61K45/00 A61K47/69 A61K47/64 A61K47/68 A61K49/16 A61K49/00 G01N33/53 C12N15 /13 C12N15/62		
CPC分类号	A61K47/6929 A61K35/17 A61K39/39558 A61K45/06 A61K47/6889 A61K2039/572 A61K2300/00 A61P35/00 C07K16/18 C07K16/30		
FI分类号	A61K39/395.ZNA.E C07K16/28 C07K16/46 C07K19/00 C12N1/15 C12N1/19 C12N1/21 C12N5/10 A61K39/395.T A61P35/00 A61P35/04 A61K45/00 A61K47/69 A61K39/395.C A61K39/395.L A61K47/64 A61K47/68 A61K49/16 A61K49/00 G01N33/53.D C12N15/13 C12N15/62.Z		
F-TERM分类号	4B065/AA77X 4B065/AA90X 4B065/AB01 4B065/AC14 4B065/BA02 4B065/CA24 4B065/CA25 4B065 /CA44 4B065/CA46 4C076/AA19 4C076/AA29 4C076/AA95 4C076/BB11 4C076/CC07 4C076/CC27 4C076/EE41 4C076/EE59 4C076/FF34 4C076/FF63 4C084/AA19 4C084/MA24 4C084/MA43 4C084 /MA66 4C084/NA05 4C084/NA13 4C084/ZB05 4C084/ZB09 4C084/ZB26 4C084/ZB27 4C085/AA13 4C085/AA14 4C085/AA16 4C085/AA26 4C085/AA27 4C085/BB01 4C085/BB11 4C085/BB12 4C085 /BB36 4C085/BB41 4C085/CC21 4C085/DD62 4C085/EE01 4C085/EE06 4C085/GG01 4C085/HH01 4C085/HH07 4C085/HH11 4C085/HH13 4C085/KA03 4C085/KA04 4C085/KA05 4C085/KA26 4C085 /KA27 4C085/KA28 4C085/LL18 4H045/AA11 4H045/AA30 4H045/BA10 4H045/BA41 4H045/DA76 4H045/EA22 4H045/EA51 4H045/FA74		
代理人(译)	清水初衷 井上隆一 佐藤俊光 小林智彦 正人大关 五十嵐弘		
优先权	62/350976 2016-06-16 US 62/253000 2015-11-09 US		
其他公开文献	JP2019505545A		

摘要(译)

本公开内容涉及与甘草聚糖2结合的抗体，以及使用这种抗体治疗表达或过表达甘草聚糖2抗原的癌症的方法。

